

論文審査の結果の要旨

報告番号	甲 第 3428 号	氏 名	金子 佳右
論文審査担当者	主査	泉崎 雅彦 教授	
	副査	矢持 淑子 教授	
	副査	横山 和彦 准教授	
論文題名： 昭和大学病院における悪性呼吸器疾患と非悪性呼吸器疾患の最終末期医療の実態調査			
掲載雑誌名(巻・号・頁・掲載年)： 昭和学会雑誌掲載 83 巻 4 号 2023 年			
<p>呼吸器疾患領域では、悪性疾患、非悪性疾患を問わず、緩和ケアは極めて重要な位置を占める。しかし、本領域における悪性疾患群と非悪性疾患群の比較において、最終末期の治療・ケア内容の両群間の違いは殆ど検討されていない。そこで金子らは、両群での最終末期の治療・ケア内容を比較し、各群での課題を抽出・検討した。対象は、昭和大学病院呼吸器内科に入院し、悪性疾患と非悪性疾患で死亡した患者である。検討の結果、オピオイドの使用は非悪性疾患群で有意に少なく、リハビリテーションの施行は悪性疾患群で有意に少ない結果であった。非悪性疾患群でオピオイドの使用が低い理由として、呼吸困難に対するオピオイドの保険適用がないことやエビデンスが不十分であることが挙げられた。悪性疾患群でリハビリテーションの施行率が低かった理由として、悪性疾患における終末期は予後の判断が難しく、早期からの介入を控えることがあるためと考えられた。以上から、悪性疾患と非悪性疾患の比較により、それぞれの呼吸器疾患群における最終末期医療における課題を明らかにした。本論文は本学大学院学位論文（博士）審査基準を満たしており、学位論文に値すると判断した。</p>			

(主査が記載)